

魚沼市生涯学習センター（仮称）建設設計等業務 公募型プロポーザル評価要領

1 評価要領の位置付け

本要領は、魚沼市生涯学習センター（仮称）建設設計等業務（以下、「本業務」という。）を委託するにあたり、「魚沼市生涯学習センター（仮称）建設設計等業務公募型プロポーザル実施要領」（以下、「本実施要領」という。）における参加表明書及び提案書の内容やヒアリングによる評価点の算出方法及び受注候補者の選定方法を示すものである。

2 評価方法及び受注候補者等の選定

- (1) 一次審査及び二次審査の二段階方式により、受注候補者を選定する。
- (2) 一次審査は、事務局において参加資格等の確認及び参加表明書の提出資料について、本評価要領に基づき採点をし、選定委員会の確認を経て、上位5者程度を選定する。
- (3) 二次審査は、選定委員会が技術提案書提出者を対象に、二次審査資料のプレゼンテーション及びヒアリングを行い、本評価要領に基づき採点し、最優秀者（第1受注候補者）及び優秀者（第2受注候補者）を選定する。
- (4) 選定委員会は、二次審査の採点により、次の条件に従い順次選定する。ただし、二次審査における全委員の評価点が72点に満たない場合は、本プロポーザルでの選定の可否も含めて審査を行う。

【選定順】

- ① 評価点が最高得点の者
 - ② ①が複数いる場合は、参考見積額が最も低い者
 - ③ ②が複数いる場合は、選定委員会の審議において選定された者
- (5) 二次審査へ通過する企業が1者であっても本プロポーザルを実施することとし、採点の結果、72点以上であった場合は、当該者を最優秀者（第1受注候補者）として選定する。

3 一次審査

一次審査における評価項目及び評価基準の詳細は以下のとおりとする。

評価項目	評価基準		配点		
				小計	
業務実績	技術者の有資格者数		1.00	6.00	
	実施設計業務等の実績		5.00		
業務遂行能力	配置予定技術者の資格	管理技術者	—	3.00	
		主任技術者	建築（総合）		—
			構造		1.00
			電気設備		1.00
			機械設備		1.00
	配置予定技術者の実施設計業務の実績	管理技術者	5.00	11.00	
		主任技術者	建築（総合）		2.40
			構造		1.20
			電気設備		1.20
			機械設備		1.20
合 計			20		

(1) 応募者に関する評価項目

応募者に所属する有資格者数、応募者の実施設計業務等の実績について採点し、合計を本項目の評価点（小数点第2位を四捨五入）とする。

ア 有資格者数の評価

応募者に所属する有資格者（一級建築士に限る。）数は、実施要領3(1)①における登録見込の建築士事務所登録による有資格者別評価表により採点する。

また、設計共同企業体として参加する場合は、構成員全ての有資格者数の合計とすることができるものとする。

【有資格者数別評価表】

有資格者数	評価点
10人以上	1.0
6～9人	0.8
5人以下	0.4

イ 実施設計業務等の実績の評価

実施要領3(1)③に示す、延床面積1,500㎡以上の新築による公共施設建築の実績について評価する。最大5件を対象とし、基礎点×実績係数により採点する。

また、設計共同企業体として参加する場合は、全ての構成員の実績を対象とすることができるものとする。

【基礎点表】

	評価点
1件当たりの基礎点	1.0

【実績係数表】

延床面積	係数
3,000 m ² 以上	1.0
1,500 m ² 以上 3,000 m ² 未満	0.8

(2) 配置予定技術者に関する評価項目

配置予定技術者の有する資格、業務実績について採点し、合計を本項目の評価点（小数点第2位を四捨五入）とする。

ア 配置予定技術者の有する資格の評価

配置予定技術者ごとに設定された資格点×所属係数により採点する。

【資格点表】

担当業務分野	技術者資格	評価点
構造	構造設計一級建築士	1.0
	一級建築士	0.8
	その他	0.5
電気設備	設備設計一級建築士	1.0
	一級建築士	0.8
	その他	0.5
機械設備	設備設計一級建築士	1.0
	一級建築士	0.8
	その他	0.5

【所属係数】

所属	係数
単体企業又は設計共同企業体構成員	1.0
協力事務所	0.8

イ 配置予定技術者の実施設計業務の実績の評価

配置予定技術者の実績とする実施設計業務に従事した立場について、評価する。最大3件（管理技術者は最大5件）を対象とし、基礎点×実績係数×立場係数により採点し、合計を本項目の評価点（小数点第2位を四捨五入）とする。

【基礎点表】

配置予定技術者	基礎点
管理技術者	1.0
建築（意匠）主任技術者	0.8
構造主任技術者	0.4
電気設備主任技術者	0.4
機械設備主任技術者	0.4

【実績係数表】

延床面積	係数
3,000 m ² 以上	1.0
1,500 m ² 以上 3,000 m ² 未満	0.8

【立場係数】

配置予定技術者	従事した立場	係数
管理技術者	管理技術者	1.0
	主任技術者	0.8
	担当者	0.6
主任技術者	管理技術者	1.0
	主任技術者	1.0
	担当者	0.8

4 二次審査

提出された技術提案書の内容について、次の項目を評価する。

評価項目		評価基準	配点
業務実施方針	設計業務の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容、業務背景及び課題への理解度 ・設計チームの特徴及び特に重視する設計上の配慮事項 ・市民意見の反映方法 	20.0
技術提案書	【テーマ1】 魚沼市立図書館構想を踏まえた図書館と公民館機能を備える複合施設としてのコンセプトや冬期間の自動車利用を考慮した駐車場の使い方を含めた敷地全体の利活用方針について	テーマ①について、その的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案になっているか等）を考慮して総合的に評価する。	20.0
	【テーマ2】 図書館利用者の利便性と生涯学習活動における多様なニーズを考慮した機能とウォーターハザードなどを考慮した一時避難所機能との併用等、複合化施設に対する考え方及び多世代が訪れたい居心地の良い空間デザインについて	テーマ②について、同上。	20.0
	【テーマ3】 都市構造再編集中支援事業の核となる魚沼市生涯学習センター（仮称）と現小出郷図書館の両施設の整備による相乗効果及び都市機能の再生や集積化による周辺商店街と連携したにぎわい創出に向けた方策について	テーマ③について、同上。	20.0
	【テーマ4】 施設維持管理の省力化、イニシャルコスト及びライフサイクルコストなどのコスト低減の考え方について	テーマ④について、同上。	20.0
	【テーマ5】 地下水を利用しない消雪施設など、新エネルギー及び再生可能エネルギー活用の実現性について	テーマ⑤について、同上。	20.0
合 計			120

(1) 技術提案書の評価項目

ア 選定委員の持ち点は120点とし、プレゼンテーション及びヒアリングの結果を踏まえ、上記評価項目ごとの配点に次のウエイトを乗じた点数をもって採点する。

評価	評価のウエイト
A：極めて優れている	1.0
B：優れている	0.8
C：良好	0.6
D：一般的	0.4
E：不十分	0.0

イ 評価点の算出

全委員の点数の平均点を評価点（小数点第2位を四捨五入）とする。